

(別添3)

【山形県中山町】
校務DX計画

当町では、令和4年度よりクラウド版の統合型校務支援システムを使用しており、校務管理・成績処理・保健管理等や職員会議の資料をクラウド上でやりとりするなどの教員同士の情報共有のデジタル化を推進し、校務処理の効率化及びペーパーレス化を図ってきた。

また、学校と保護者間の緊急連絡や出欠席確認等の連絡手段については、全校でメール配信システムを導入して行っており、双方の負担軽減を図っている。

「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果では、日常の業務にFAXを使用する例が認められるほか、また、押印が必要な書類が数多くあることから、令和6年8月9日文部科学省事務連絡「学校等でのやり取りの慣行・学校現場に関連する押印ルールの見直しについて」に基づき、過度なFAXの使用や押印の必要性を整理し、原則廃止に向けて取り組んでいく。

また、校務DX化チェックリストによる自己点検の結果等を踏まえ、チェックリストに示されている教育委員会及び学校が校務DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現するうえで障害となる課題を見出し、その解決策等を検討及び施行していくこととする。

次世代の校務システムの導入については、校務支援システムの更改のタイミングを踏まえながら、当町の現状や望ましい校務の在り方に関する検討を行いつつ、次世代の校務支援システムへの移行について検討する。

当町では、教職員の事務負担等を軽減し、児童・生徒と向き合う時間を確保するため、様々なICT機器やツールを活用し、校務効率化の実現に向けて取り組んでいく。